

## ◆機器展示担当から

### 望月 茂

機器展示担当 (株)ソリッドレイ研究所)

第6回長崎大会機器展示は、企業展示11社、実演展示は技術・作品を合わせて10団体の出展がありました。会場となった長崎ブリックホールは、市内中心部に位置し、JRや長崎名物の路面電車の駅からも近く、ロケーションに恵まれた会場でした。展示のメイン会場は、スペースの関係で、国際会議場横のラウンジを使用することになり、当初は、完全に施錠できないことや遮光の対応など、いろいろな問題点もありましたが、度々打ち合わせを重ねるうちに、なんとか展示することができるようになりました。ただ、会場に備品類が少なく、展示ブース用の機材のレンタル先などの確保に会場担当の本多さんを始め、委員の方々が奔走されたと聞きました。遠く横浜にいて、何もできなくて申し訳なく思っています。

期間中は、晴天にも恵まれ、無事に会期を終了することができました。出展していただきました企業、大学の関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。最後に大会長の竹田先生を始め、幹事の金子先生、運営の北島先生、また会場担当の本多さん、大会実行委員の皆様にご場をお借りして、お礼を申し上げます。

## ◆テクニカルツアー担当から

### 福 直仁

テクニカルツアー担当 (株)ソリッドレイ研究所)

ご見学頂いたシステム「バーチャルシアター」は、長崎ペンギン水族館の今年4月のオープンとともに稼動しておりますが、私は、本システムのコンテンツ「ぎん吉くんの大冒険」のソフトウェア開発を担当させて頂いた経緯があり、今回、ご説明させて頂きました。

このシステムは、PC4台が並列に生成した立体CGを、55度に傾斜させた横7[m]、縦3.5[m]のスクリーンに対して4台のプロジェクトで投影している点が特徴です。また、4台のプロジェクト映像にはそれぞれソフトウェアによるブレンディング処理を行っています。

日頃はパソコンに向かってプログラミングばかりしており、人前で話す機会があまりないので、うまくご説明出来たか不安ですが、著名な研究者の方々に接することが出来てうれしく思っています。時間の都合でご質問等



図7 龍踊りを眺める会員のみなさま

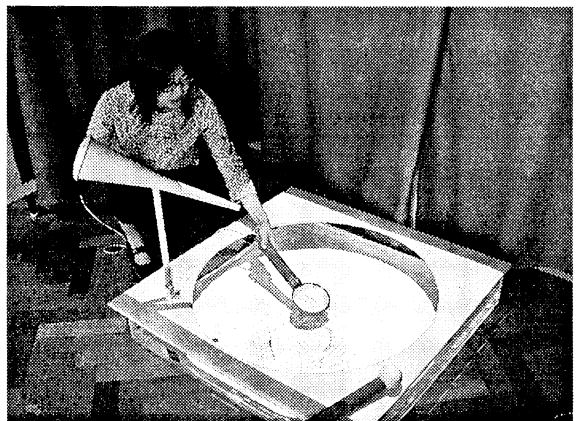


図8 作品展示(「およぐことば2」)

お受け出来なかったのは誠に残念であり申し訳なく思いますが、少しでも皆様の研究の参考になれば幸いです。

最後になりましたが、ご協力頂いた長崎水族館の方々、長崎総合科学大学竹田研究室の方々、また、今回ご説明の機会を与えて下さった竹田先生に心よりお礼を申し上げます。

## ◆座長からの報告

### 11A : 作業支援

座長：志堂寺和則 (九州大学)

遠隔操作の同期処理、モデリングシステム、土木工事支援、花火演出支援、造船作業支援に関する5件の発表があった。基礎的な研究もあれば特定の作業を支援するための研究もあり、聴衆にとって飽きさせないセッションであった。将来の大きな飛躍のためには基礎研究が重要であることはもちろんであるが、応用研究は個別の作業に特化した要素ばかりではなく、類似の作業に対して応用の効く要素を持っている。この意味において、今後、